

Topics ■トピックス [学内情報]

◎「関西大学SDGsフォーラム」を開催

一人一人がSDGs推進の行動を

▼(左)パネルディスカッションの様子(右)全体質疑応答で質問をする経済学部・後藤健太教授ゼミの学生



6月22日、関西大学は国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)に向けた取り組みの推進を目的に「関西大学SDGsフォーラム」を千里山キャンパスで開催した。

関西大学では2018年12月、学長の下に「KANDAI for SDGs推進プロジェクト」を設置。SDGsが目指す「地球上の誰一人として取り残さない」という世界規模の理念・目標に取り組んでいる。

当日は、三宅沙也加さん(文4)が日本語ボランティアや清掃などの活動経験を基にSDGs推進を訴えた。基調講演では、SDGsビジネスアワード2017で大賞を受賞したフロムファースト株式会社代表取締役の阪口竜也氏が登壇。SDGsビジネスの具体的な取り組み事例を紹介するとともに「従来の経済システムの尺度では価値の低いことも、SDGsの視点に立てば価値が高いこと



がある。逆転の発想がビジネスのヒント」と持論を展開し、学生に今からできる事に取り組んでほしいと活動を促した。その後、草郷孝好教授(社会学部)や村川治彦教授(人間健康学部)らと交え、権南希教授(政策創造学部)をコーディネーターとしてパネルディスカッションを実施。「ビジネスや市民社会の在り方」「SDGsをどのように“自分ごと”として捉えていけば良いか」等をテーマに、活発な意見交換が行われた。

会場に設置されたポスターには「今日からできる私のSDGs」として参加者のアイデアや決意が記された付箋が次々と貼られ、それぞれの意欲や意識向上が伺えた。



会場設置のポスターに付箋を貼る参加者

◎第42回総合関関戦

伝統の戦いで、双方譲らず大会初の両校優勝



6月9日と14～16日の4日間、第42回総合関関戦(関関戦)が関西学院大学上ヶ原キャンパスを主会場として開催された。昨年10年ぶりの総合優勝を果たした関西大学KAISERSは、2連覇を目指して勝負に挑んだが、結果は双方譲らずの17勝17敗3分。引き分けによる両校優勝となった。

1978年に始まった関関戦は、関西大学体育会と関西学院大学体育会が良きライバルとして対戦し、親睦を深める大会として毎年開催されている。今大会のスローガンは“凌駕”。相手大学を勝敗だけで上回るのではなく、体育会全体の団結力や技量で圧倒したいという思いが込められた。

今回の結果により、関西大学の通算成績は17勝23敗1分。優勝を分け合うこととなり、選手たちは悔しさを胸にさらなる飛躍を誓った。

(写真提供)：いずれも関大スポーツ編集局

笑顔あふれる 市民参加型キャンパス祭

今年も大盛況！3キャンパス祭を開催



高槻キャンパス祭2019

多彩なイベントで学生と地域住民が楽しく交流

5月26日、総合情報学部祭典実行委員会の企画・運営のもと、高槻キャンパス祭2019が開催された。25回目を迎えた今年のテーマは「Can Cam～楽しさは無限大～」。さまざまな「できる」が集まる場所、それが高槻キャンパスであってほしいという学生たちの願いが込められた。

当日は、「ものづくり工房体験教室」、模擬店のゲームセンター、学生製作ゲームの研究発表、MCSによるスタジオ体験など、総合情報学部の魅力を伝える多彩な催しが行われた。

また、高槻市PRマスコットキャラクター「はにたん」と一緒に踊る「Let's はにたんダンス」、「高槻うどんギョーザ」の実演販売、フリーマーケット、本学応援団による演舞演奏、スケート教室、小学生サッカー大会、野球親善試合など、地域住民と一緒に楽しめるイベントも大好評で、キャンパスは約2,500人の来場者で終日にぎわった。



堺キャンパス祭2019

笑顔いっぱいのイベントで 地域とのつながりを深める

6月2日、人間健康学部祭典実行委員会を中心に、第9回となる堺キャンパス祭が開催された。今年のテーマは「どんと来い!! 堺!!」。たくさんの方に気軽に足を運んでいただき、楽しいひと時を過ごしてほしいという思いが込められた。



当日は、堺市で長く親しまれている「堺っ子体操」を全員で踊ることからスタート。フットサルやバレーボール、バドミントン等のスポーツ教室や地域社



会との連携を推進する人間健康学部らしい催しなどが多数実施された。また、物産展や緑日などの模擬店、子ども向け企画なども大いに盛り上がり、キャンパスは約1,400人の来場者の笑顔で明るく彩られた。

第5回高槻ミューズキャンパス祭

体験型企画で「美味しく、楽しく」学習する

6月23日、社会安全学部祭典実行委員会が主体となり、第5回高槻ミューズキャンパス祭が開催された。今年は「地域とふれあい防災フェスタ」がテーマ。

防災に対して興味や関心を持ってもらい、イベントで得た学びを日常生活に生かしてもらいたいという学生たちの強い思いが込められた。

当日のキャンパスには、自治体による炊き出しランチをはじめ、模擬店やご当地グルメが楽しめる高槻物産展、関大中・高等部による吹奏楽コンサートなどの企画が勢揃い。身近なものを活用した防災グッズ作りや、防災かるたなどのゲーム、10歳までの防犯教室、放水体験など、社会安全学部ならではのイベントが多数開催された。オープンキャンパスも同時開催され、学生や地域住民、高校生など約3,000人が「美味しく、楽しく」安全について学んだ。

